

紙屋中学校通信

平成31年 3月22日発行
小林市立紙屋中学校
3月号

2年生立志式

2月26日(火)

2年生の立志式がありました。将来への展望を見つめながら、一人一人立派に自分の考えを発表することができました。



保護者や来賓の方々に見守られて、厳粛な中に温かみのある立志式でした。



校長先生の式辞では、2年生に向けてメッセージが送されました。

クラーク博士の「少年よ大志を抱け」は続きがあり、「お金や名声という消えゆくものの為ではなく、人間としてどうあるべきかを考え、少年よ大志を抱け」であると話され、志は、世のため、人のためになるものであってほしいという願いがこもったメッセージでした。

卒業生の声を聞く会

3月6日(水)



話してくれた卒業生（高校3年）
中山晴斗くん
坂上雄大くん
松嶺僚哉くん
川内春菜さん
片野雅章くん

自分の進路についての考え方や中学生時代にやっておかなくてはいけない大事なことなどを話してくれました。5名の高校3年生のみなさんありがとうございました。

第72回紙屋中卒業式

3月16日(土)



卒業生一人一人に卒業証書が校長先生（直筆）から渡されました。来賓も23名のご臨席を賜り、校長式辞、市教委の深田利広様と本校PTA会長の藤田博志様からご祝辞をいただきました。



送辞では、2年生永田ひなさんが卒業生一人一人の名前を出して、思い出と感謝の気持ちを伝えました。答辞では卒業生小田峻也君が感謝の気持ちと卒業生6名の将来への志を発表してくれました。

「スポーツの楽しみを伝えたい」「地元食材を活かした食品開発をしたい」「安全を保障するエンジニアになりたい」「笑顔が素敵な介護士になりたい」「どんな時も電気を安定供給したい」「地元を元気にする公務員になりたい」みんな頼もしい夢をもって、巣立ちました。保護者代表挨拶では、小田賢次郎様からお礼の言葉をいただきました。



卒業おめでとう

